

ときがわ町地域公共交通活性化協議会

平成21年11月16日設置
平成22年 3月16日連携計画策定

平成22年度 事業概要

- ・ 高齢者等(含む移動制約者)に対応した交通体系の導入
- ・ 車両を小型化し、きめ細かな路線の配置
- ・ 交通ネットワークのハブ&スポーク化による多方向への需要の対応
- ・ ゾーン制運賃と年間フリーパスの導入
- ・ 需要動向の把握と公共交通の必要性の啓蒙

○バス停のハブ&スポーク化

ハブとなるバス停を整備し、ハブを中心として多方向から集まった乗客を多方向に振り分ける路線網を確立します。
その際、乗換え、接続において利便性の向上を図ります。

○ときがわ式デマンド交通の導入

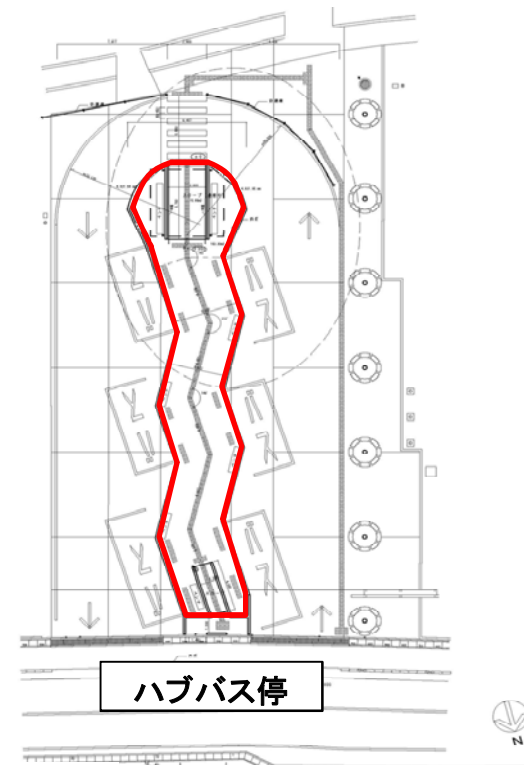
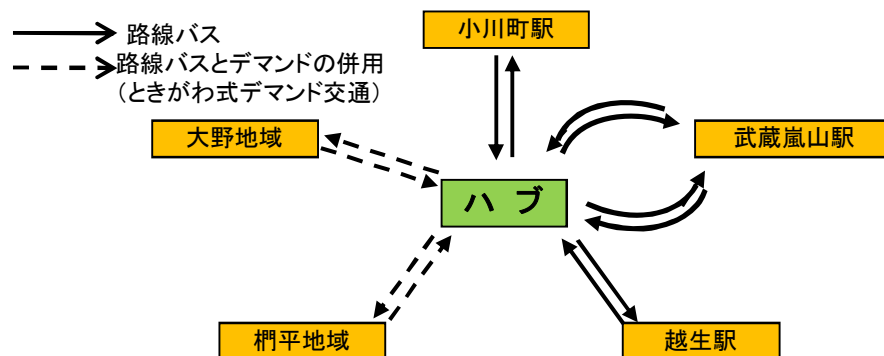
自宅付近からハブバス停まで、ワゴン車によるデマンドバスを導入します。
当面は2地域に、路線バスとデマンドバスを時間帯別に交互に運行します。

○バス路線網の統合再編

町路線バスと民間路線バスが走っており、分かりにくかった体系を統合して路線網、運賃を一本化し、再編し直します。
その際、分かり易いゾーン制運賃と、乗降自由のフリーパスを導入します。

○定期的な交通需要の把握と需要喚起

乗降センサーを設置し利用者の把握を定期的に行います。
利用者アンケートを行うことで需要の把握と毎年度見直す目安とします。
地域説明会を行い、地域の実情を把握するとともに、公共交通の必要性、重要性を説明し、住民の意識改革を図り、利用促進につなげます。



：ゾーン制運賃

左の路線網を5つのゾーンに分け、ゾーン内200円で利用、他のゾーンに入った時点で100円加算され、上限は400円となります。

：フリーパス

通学定期、高齢者定期(65歳以上)は全ゾーン乗降り自由。

通勤定期は利用指定ゾーン内乗降り自由。
その他、町民対象のバスサポートパス、観光客対象の観光フリーパスの発行。